

## 第681回:てんやわんやの五輪異聞

今年の2月4日(金)より北京冬季五輪が開催される。近代五輪の嚆矢は夏季が1896年のアテネ、冬季が1924年のシャモニーで、夏季と冬季の五輪を開催した都市は北京が初めてとなる。たしかに東京、パリ、アテネなどでは冬季五輪は無理だ。ロンドンやニューヨークならできるかな？

北京市におかれては、五輪の夏季&冬季開催に漕ぎ着けられ、誠に御同慶の至りだが、成功するか否かはコロナ次第。北京五輪を成功させるためには、就中オミクロン株を抑え込む必要があり、いま中国は「ゼロコロナ」を目指し、前代未聞の厳戒態勢を敷いている。

だが、中国より数段衛生管理が進んでいる欧米諸国ですら「ゼロコロナ」を諦め、何とか「ウイズコロナ」で折り合いを探ろうとしている中、中国の奮闘努力には敬意を払うが、そう簡単ではなさそうだ。

昨年10月31日、上海ディズニーランドが一時的に営業停止措置をとる事件が発生した。前日に入園した1人が新型コロナ検査で陽性と判明したためだ。

報道によると、上海ディズニーの来園客(3.4万人)は退園前に全員PCR検査を受け、更に24時間自己隔離の後に2回目の検査を受けるよう指示された。

全員陰性だったから結果オーライだったけれど、たった一人のために3万人が足止めを食う結果となり、「ゼロコロナ」を目指す中国政府の執念には恐れ入る。

中国中部の陝西省西安市、中国語で云えば「十三朝古都」が今、やっさもっさの大騒ぎとなっている。

西安は新型コロナの拡大により、旧臘23日以降、実質的なロックダウンが強行されており、ある妊婦が陰性証明の期限切れを理由に診療を拒否されて死産したり、物流や供給網が混乱し、食料品を買えない人が食糧の奪い合いをしたりするなど市民生活に大きな影響が出ており、地域住民が防疫担当官に殴打される事件まで多発し、一時は暴動寸前の雰囲気すら感じさせる状況となった。

古都・西安のある陝西省は、習近平主席の実父の習仲勲が日中戦争のさなか、ここに革命根拠地を築き、毛沢東を指導者とする中国紅軍が「長征」を敢行し、国民党が、「あれはLong Marchではなく、夜逃げだ」と嘲笑する中、這々の体で黄土高原に転がり込んできた時、高崗らと共にヨレヨレの兵卒を温かく迎え入れた中国現代史に所縁の地でもある。

そんな関係で、習仲勲は、この地で陝甘辺ソヴィエト政府主席や、西北野戦軍副政治委員を務めるなど、長期にわたり活動し、習主席も15歳から7年間、延安で暮らしたことがある。

中国古代史でも現代史でも重要な位置付けとなっている西安は中国最大級の観光都市でもある。今年は北京五輪のタイミングで外国人観光客の来訪が期待されているのだが、西安で発生したコロナ大騒動は、一時は暴動にも発展しかねない勢いを見せ、治安当局者は肝を冷やしたに違いない。

その成都の状況がやっと好転し始めた矢先、今度は首都北京の隣の天津市でオミクロンのクラスターが発生した。天津の衛生当局によると、1月8日に女性と女兒のオミクロン株への感染が確認され、その後の濃厚接触者等への検査の結果、10日までに数十人規模の感染が確認されたことから、天津市は1300万人、つまり天津市の全市民を対象にPCR検査を始めたと云うから凄い。

中国の公式報道を信用するなら、中国でこれほど大規模なオミクロン株の流行は初めてのことだ。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

首都・北京と港町・天津は唇亡齒寒の関係にある。北京の面積は岩手県、天津の面積は秋田県に等しく、北京市～天津市(約 110 キロ)は高速鉄道で 30 分程度の距離。日本で言えば、東京と横浜との関係に似ており、通勤圏内でもあり日々の往来は多く、警戒感が一気に広まっている。

そんなわけで、中国最大の産業都市上海で発生したコロナ騒動が、中国の古都西安に舞台を移し、その次は中国最大級の港湾都市・天津・・・さて、その次があるとしたら、それは首都に違いない。

中国は感染を完封しようと「ゼロコロナ政策」を敷いているが、習近平主席自ら「トイレ革命」を呼びかけるくらい劣悪な衛生環境と、家族も知人も一緒になって中華料理を“直箸”でシェアするような食習慣などの影響もあり、局地的な感染が止まらないようだ。

中国政府は、2 月に開催される北京五輪を控え警戒感を高めているが、ゼロコロナ達成はもはや無理で、このまま五輪に突入することは確実だ。

「ゼロコロナ策」を墨守するのは中国政府の勝手だが、労働者不足、サプライチェーン分断、運送トラブルなどの経済問題が、必ず後から発生することを覚悟する必要がある。世銀が今年に入り、中国の実質成長率の見通しを 0.3pt 下方修正し、+5.1%としたことをお忘れなく。

こんなジョークを中国の友人が披露してくれた。中国は世界に冠たる“監視国家”であり、迂闊な手段では、こんなリスクなメッセージは送れない・・・だから友人から筆者への送信手段は内緒のことあるよ。

2022 年 2 月、世界中を新型コロナの進化系・オミクロン株が徘徊する中、北京五輪を感染、もとい観戦するために北京市を訪れたアメリカ人が、観光ガイドの案内で市内観光に出かけた。ところが間の悪いことに、彼は繁華街を歩行中、工事現場の溝に踏み込んで、転倒してしまった。泥まみれになったアメリカ人は、腹立ちまぎれに中国人ガイドを怒鳴りつけた。「ばかやろう！危ないじゃないか。こんな危険な場所には、赤い旗でも立てておくものだ。」すると、ガイドは即座に答えた。「そのとおりです。我が国では、以前から海外の方々に注意喚起しております。昨日入国される時、空港の入り口に大きな赤い旗が翻っているのが見えなかったのですか？」

因みに、北京のことを多少知っている知人の多くが、「冬は寒いけど、雪が降らない北京でオリンピックができるの？」と疑問に思っているようだが、五輪会場は①北京市の街中(体育館、スケート場など)、②北京市郊外(万里の長城・八達嶺のある市北部)、③河北省張家口市(北京の北西 150 キロ)に分散されており、②③で人工降雪の力を借りて、パイアスロンやノルディックなどを行うようだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2022 年(令和 4 年)1 月 12 日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007 年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



## ご投資にあたっての注意事項

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。